

合気道

守央書

Vol. 32

全日本合気道連盟広報 JAPAN AIKIDO FEDERATION (JAF)

- ◆ 発行日：令和7年8月25日(月)
- ◆ 発行：全日本合気道連盟
〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号
(公財) 合気会内
TEL 03-6457-3315
- ◆ 発行人：宮本鶴蔵
- ◆ 編集責任者：山本高英
- ◆ 編集協力者：尾崎 响

- 2P 道主に旭日小綬章
- 3P 全日本合気道連盟(JAF)
理事会・定時評議員会
理事長 西挨拶
- 4P 新役員紹介
- 5P 新評議員紹介
- 6P 合気神社例大祭
- 7P 第62回全日本合気道演武大会
- 8P 令和七年 鏡開き式・武道始め
- 9P 神奈川県合気道連盟第12回講習会
広島県合気道連盟春季特別講習会
- 10P 大阪府合気道連盟指導者講習会
愛知県合気道連盟合気道研鑽会
- 11P 長野県合気道連盟合気技術講習会

道主に旭日小綬章

春の叙勲の受章者が四月二十九日に発表され、植芝守央道主は五月二十一日に旭日小綬章を受章されました。

このたびの叙勲は道主が長年にわたり

務めてきた合気道の普及・振興が評価されたものです。国内においては都道府県の連盟設置、地域指導者育成の講習会、学校授業に対応するための研修事業など

を通じての地域と学校教育への貢献。そして海外普及を通じての我が国と諸外国との友好親善への寄与によるものです。

開祖、吉祥丸二代道主に続き、三代にわたつての褒章と勲章の受章は、武道界では類例がなく、合気道を修業する私たちがとつても大変に名誉なことでありま

道主はこのたびの叙勲にあたり「今回の叙勲は合気道の国内外での社会貢献が高く評価されたものであり、合気道に関わる皆様を代表して私がいただいたものだと考えています。この喜びを皆様と分かち合いたいと思います」と述べられました。



植芝守央合気道道主 旭日小綬章受章祝賀会

◇ 発 起 人：多田 宏 本部師範

林 典夫（公財）合気会常務理事

尾崎 响 全日本合気道連盟相談役

◇ 実行委員長：植芝 充央 合気道本部道場長

◇ 日 程：2025年11月9日（日）

◇ 時 間：午後12時 受付開始 午後1時頃 開会（予定）

◇ 会 場：京王プラザホテル（東京都新宿区西新宿2丁目2-1）

◇ 会 費：20,000円（1名様あたり）

◇ 申 込 方 法：お申込みには事前の参加登録・お振込みが必要となります。

詳細につきましては、（公財）合気会のHPをご覧ください。

※ 本祝賀会は（公財）合気会会員の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

全日本合気道連盟(JAF) 理事会・定時評議員会

令和六年度理事会(決算)・令和七年度第一回理事会(予算等)・定時評議員会は五月二十三日(日本教育会館)にて行われた。理事会及び評議員会の冒頭、五月十一日に逝去された故嶋本勝行理事へ黙祷が捧げられた。

十三時半から行われた理事会では、尾崎理事長が議長となり、令和六年度の事業報告および会計報告、監査報告、任期満了に伴う理事、評議員の結果報告が行われ、承認可決された。その後、十四時より役員改選後の新しい役員全員が出席した第一回理事会が行われた。宮本鶴蔵新理事長が議長となり、新役員紹介、全日本合気道連盟

結成目的と理念について説明が行われ、令和七年度事業計画案、および同年度予算案、全日本合気道連盟五十周年記念事業について審議され、承認可決された。

十五時半から道主、ならびに植芝充央本部道場長をお迎えして定時評議員会が行われた。会に先立ち、宮本理事長から道主の旭日小綬章の叙勲に対する祝辞があり、道主よりお礼の言葉があり、引き続き『合気道は合気道を開祖が創始され合気道を正しく承継するために昭和十五年に政府から財団法人が認可されました。』

昭和二十三年に改組し、『財団法人合気会』となり現在は『公



益財団法人合気会」として活動しております。この歴史の流れで全日本合気道連盟は、昭和五十一年に結成されました。合気道の役割としましては、開祖が創始した合気道を正しく承継し普及振興していくこと、連盟の役割としましては、合気会に登録された各地域の団体が横の繋がりを作り相互の融和を図る、ということがあります。是非、それぞれの立場におきまして日々活躍と同時に合気道の普及振興に邁進して頂ければと思っております」と挨拶があった。

続いて、宮本理事長が議長となり、令和六年度事業結果と会計報告、更に令和七年度事業計画、および同年度予算案を各担当常任理事より報告された。質疑応答の後、すべての事案について評議員の承認を得た。

【新役員】

理事長 宮本 鶴蔵
常任理事 林 典夫

理事 菅 守人

監事 梅津 翔

相談役 山本 高英

監事 中村 克也

相談役 窪田 育弘

監事 船越 光雄

相談役 堀井 悦二

監事 白川 勝敏

相談役 藤城 清次郎

監事 石原 克博

相談役 今崎 俊敏

監事 岡田 正晴

相談役 澤田 洋子

監事 日高 浩

相談役 尾崎 响



ご挨拶

全日本合気道連盟(JAF)

理事長 宮本 鶴蔵

令和七年(二〇二五)五月、尾崎响理事長の任期満了に伴う御勇退により、合気道道主植芝守央先生のご推挙により、全日本合気道連盟(JAF)の理事長に選任されました宮本鶴蔵でございます。

皆様ご存知の通り、令和七年度春の叙勲が発令され、道主植芝守央先生が旭日小綬章を受章されました。

開祖植芝盛平翁、二代道主植芝吉祥丸先生に続き、三代にわたつての褒章と叙勲の受章は類例がなく、合気道を修行する私たちにとても大変名誉なことです。全日本合気道連盟(JAF)会員一同、心よりお祝いを申し上げます。

さて、全日本合気道連盟(JAF)は来年で五十周年を迎えます。昭和五十一年(一九七六)の国際合気道連盟(IJAF)設立にあたり、日本国内の合気会傘下の団体として設立されました。二代道主植芝吉祥丸先生、現道主植芝守央先生のご指導のもとで、多くの諸先生、諸先輩方々のご苦勞・ご苦難の結果とし、発足当時の二十二都道府県の加盟から、平成二十四年(二〇一二)には四十七都道府県の全国組織になり、全日本合気道連盟(JAF)が継続されていること、改めて敬意、感謝を申し上げます。合気道連盟の役割について、道主植芝守央先生は次のように述べられています。

一、合気会に登録された方々が横の繋がりを作るといふことで、連盟という組織ができています。その組織の中で、皆様方が日々の稽古を行い、社会に貢献することだと思っております。(令和七年度定時評議員会の挨拶より)

二、全日本合気道連盟(JAF)の規約の第一章、第一条(理念)、第三項に本連盟は、合気道道主を以て合気道の精神、哲理、技術、および段位の最高權威とすると記してあります。

全日本合気道連盟(JAF)の発足以来、こ

の二点を中心的な方針のもとに運営されております。具体例として、事業計画に四十七都道府県の選択された連盟において、年一回の全日本合気道連盟(JAF)主催による道主植芝守央先生の全日本合気道連盟(JAF)特別講習会があります。同講習会は、合気会に登録された方々の横の繋がりを作り、組織として四十七都道府県連盟の融和を図ることを目的としています。また、同講習会に参加することで道主植芝守央先生の話と技に直接触れ、各自が技術のさらなる向上を目指すことが、合気道普及振興の大きな原動力へとつながっていきます。

本年度は、令和八年(二〇二六)三月二十九日(日)に全日本合気道連盟(JAF)と広島県合気道連盟との共同主催による第二十二回全日本合気道連盟(JAF)特別講習会を開催いたします。特別講師として公益財団法人合気会本部道場長、植芝充央先生をお招きいたします。

近年の合気道の国際化には目を見張るものがあります。全日本合気道連盟(JAF)は本連盟規約の中の理念に基づき、更なる精進を重ね、国際合気道連盟の一団体として半歩、一歩先を先導する役割を果たしていきたいと思っております。

合気道道主植芝守央先生のご指導のもと、新しく選任されました常任理事、理事、評議員、また、会員の皆様方のご支援・ご協力いただきながら、合気会の主要行事に積極的に参加し支援することが合気道普及振興につながるよう、微力ではございますが邁進する所存です。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。この場をお借りし新任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

新 役 員 紹 介



理事
中村 克也
山口県
合気道連盟

合気道主三代に渡る叙勲の栄褒章を賜う「令和の武道」として世界平和に貢献している使命の尊さに鑑み、県連盟の先頭に立って微力ながら今後益々、道統と連盟の発展に努めます。



理事
菅沼 守人
福岡県
合気道連盟

少しでも連盟の充実と発展のためにお手伝いできればと思っております。



常任理事
梅津 翔
(公財)合気会

この度、常任理事を拝命し、その役割の重さを受け止めて全日本合気道連盟の活動に尽力し、合気道の更なる普及発展のため努力してまいります。



常任理事
山本 高英
(公財)合気会

道主から示された理念、精神を尊重して合気道の着実な発展に微力ながら尽力いたします。JAFの広報担当として、各地域同士の繋がり、合気会との密接な関係を大切にしながら、情報発信に努めて参ります。



常任理事
林 典夫
(公財)合気会

開祖盛平翁、吉祥丸二道主から守中央現道主に継承され世界規模で公汎化している合気道の正しい普及ならびに連盟の活動に微力を尽くしてまいります。



理事長
宮本 鶴蔵
(公財)合気会

道主ご指導のもと、常任理事、理事、評議員、会員の皆様方の御支援、御協力を賜りながら、連盟の更なる充実、合気道の普及振興の一助になるよう邁進して参ります。



理事
石原 克博
静岡県
合気道連盟

全日本と県連の関係に更に充実させる事が理事の使命だと考えます。又その事が斯道発展にも繋がると思ひ微力ながら尽くして行きたいと思っております。



理事
藤城 清次郎
東京都
合気道連盟

本年は、都連創立40周年の記念の年です。道主の旭日小綬章を受賞の慶賀と重なり二重の慶びです。更に、初代理事長が道主という歴史と責任ある都連は、全日本同友と共に合気道発展に尽力したいと思ひます。



理事
白川 勝敏
宮城県
合気道連盟

本連盟は創立60周年記念行事も滞りなく終え、再び力強く70周年に向けて歩み始めました。今後全日本合気道連盟と共に合気道普及発展のために全力を尽くしてまいります。



理事
堀井 悦二
合気道
兵庫県連盟

合気会、全日本合気道連盟発展のために微力ながら貢献したいと思ひます。



理事
船越 光雄
山形県
合気道連盟

合気道の更なる普及・発展のため、全日本合気道連盟の融和と友好に努めてまいります。



理事
窪田 育弘
奈良県
合気道連盟

合気道普及発展の為(公財)合気会を支え、道友及び各連盟間の融和を図り、全日本合気道連盟の立場からお役に立ちたいと思ひます。



相談役
尾崎 响
(公財)合気会

理事長から相談役に変わりましたが、合気道の発展に寄与する気持ちは、寸分も変わりありません。連盟発展の為に、鋭意努力してまいります。宜しくお願ひ申し上げます。



監事
高橋 嗣慶
千葉県
合気道連盟

この度監事職を拝命戴き微力では御座いますが、少しでもお役に立てばと思ひます。千葉県を通じて次世代にしっかりと継承致して参ることが要、今後の合気道普及発展のため努力致して参ります。



監事
日高 浩
岩手県
合気道連盟

このたび、監事を仰せつかりました。もとより微力ではありますが全日本合気道連盟発展のため、尽くしていきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。



理事
今崎 正敏
神奈川県
合気道連盟

この度、全日本合気道連盟理事を拝命いたしました。連盟の発展と合気道の普及に少しでも貢献できるように努力してまいります。皆様のご指導よろしくお願ひ申し上げます。



理事
岡本 洋子
京都府
合気道連盟

先達の方々に学びながら、今期も引き続き、次世代と次世紀の合気道家の皆さんのために、稽古交流の場を提供していただけるように努力いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。



理事
澤田 俊晴
愛知県
合気道連盟

理事として再選させていただきました。全日本合気道連盟の一員として、愛知県を中心に合気道の普及・発展をお手伝いさせていただきます。

新 評 議 員 紹 介

飯島悦男
茨城県
合気道連盟牛木陽二
栃木県
合気道連盟忍山 東
福島県
合気道連盟北嶋貞好
秋田県
合気道連盟米谷恵司
青森県
合気道連盟佐藤圭史
北海道
合気道連盟中島久典
長野県
合気道連盟若尾重廣
山梨県
合気道連盟武田 聡
神奈川県
合気道連盟井阪有一
東京都
合気道連盟川路昌治
埼玉県
合気道連盟小沼俊彦
群馬県
合気道連盟米川憲久
三重県
合気道連盟田中英生
岐阜県
合気道連盟八木貞人
福井県
合気道連盟山本博史
石川県
合気道連盟島 恵司
富山県
合気道連盟廣川和久
新潟県
合気道連盟渡邊祐司
広島県
合気道連盟壬生川道晃
岡山県
合気道連盟田村典行
島根県
合気道連盟濱路政庸
鳥取県
合気道連盟冷水照夫
和歌山県
合気道連盟清水正男
滋賀県
合気道連盟前田 敦
長崎県
合気道連盟杠 好秋
佐賀県
合気道連盟松村俊典
高知県
合気道連盟小清水祥孝
愛媛県
合気道連盟西原 浩
香川県
合気道連盟工藤泰助
徳島県
合気道連盟山口 大
沖縄県
合気道連盟山口和文
鹿児島県
合気道連盟園田 誠
宮崎県
合気道連盟渡辺和郎
大分県
合気道連盟本田宏一
熊本県
合気道連盟

全日本合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内

合気神社例大祭、慰霊祭

盛大に1200名が参集



暖かい天候の中、大勢が参集した



植芝道主の奉納演武



植芝本部道場長の奉納演武

開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭も開催



挨拶する植芝道主

「合気神社例大祭」と「開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭」は、四月二十九日午前十一時より、茨城県笠間市（旧岩間町）の合気神社で執り行われた。当日は一二〇〇名の参拝者が参集した。

合気神社例大祭は、修祓に始まり、大祭祝詞、植芝家をはじめ各界の玉串奉奠が行われ、参拝者全員で神言を奏上した。

開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭は、祖霊、開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭祝詞のあと、植芝家、開祖・吉祥丸道主ゆかりの参拝者、参拝者代表による玉串捧呈が行われた後、天津祝詞が奏上された。

主催者挨拶として、植芝守央道主より『本日のご多用の中、このように大勢の皆様が合気神社例大祭、合気道開祖植芝盛平翁・吉

祥丸二代道主慰霊祭に参拝を賜りまして本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。開祖が亡くなられて五十六年吉祥丸二代道主が亡くなられて二十六年の歳月が経ちました。その間合気道は多くの輪

ができ現在一四〇の国と地域に、国内はおよそ二四〇〇の道場が合気会に所属をされております。当初海外は欧米が中心でありましたが、近年は日本でも馴染みの薄い国々、中東、中南米、アフリカなど深く合気道が理解され、普及しております。このような多くの流れができましたのは、もちろん、開祖植芝盛平翁の創始した合気道の素晴らしさゆえですが、その素晴らしい合気道を吉祥丸二代道主をはじめとする先達の皆様、普及をしっかりとしてくださいと、現在、稽古されていらっしゃる皆様方のお力のおかげで大きな輪を作り上げたものと確信しております。これから我々はこの素晴らしい合気道を正しく次の世代に繋げていくことが責務だと思っております。開祖の作られた合気道の技法と精神、理念をしっかりと日々稽古をしながら自分自身を鍛えていくことだと思っております。そのためには皆様、しっかりと稽古をしてまいりましょう』と挨拶。

その後、植芝充央本部道場長による奉納演武、植芝道主による奉納演

武が行われ、午後十二時半祭典を終了した。その後、場所を茨城支部道場内に移して直会が行われ、植芝充央 本部道場長、山口伸樹 笠間市長、田所嘉徳 衆議院議員、上月参議院議員より挨拶、林典夫（公財）合気会常務理事の発声で乾杯がなされ、和やかに進められた。

例大祭玉串奉奠者（敬称略）

▽斎主 澤田哲美▽植芝家植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝紘史、植芝智史▽（公財）合気会常務理事 林典夫▽衆議院議員 田所嘉徳、福島伸亨▽参議院議員 上月良祐▽笠間市長 山口伸樹▽笠間市副市長 近藤慶一▽笠間市議会議長 畑岡洋二▽笠間市教育委員会教育長 小沼公道▽田辺市副市長 木村晃和▽田辺市教育委員会教育長 野田泰輔▽茨城県議会議員、茨城県合気道連盟会長 常井洋治▽本部道場指導部代表 入江嘉信▽茨城支部道場指導部代表 稲垣繁實▽全日本合気道連盟理事長 尾崎响▽参拝者代表 山本高英（公財）合気会監事

開祖・吉祥丸二代道主

慰霊祭玉串捧呈者（敬称略）

▽斎主 澤田哲美▽植芝家植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝紘史、植芝智史▽（公財）合気会理事 赤沼三己男、可児晋、佐藤健▽開祖・吉祥丸道主ゆかりの参拝者 小林保雄 小林道場総師範、五味田聖二 植芝盛平翁顕彰会理事長、遠藤征四郎 本部道場指導部師範、▽（公財）合気会評議員 村井謙介、徳永昌子、田辺暢、木寅雅之▽参拝者代表 佐藤勝彦（公財）合気会評議員

第62回 全日本合気道演武大会

演武者約8000名、参加者約1万人



本日、演武される皆様は日頃の稽古の成果を発揮すると同時に、先達に感謝の気持ち、また一期一会の心で臨んでいただきたいと思えます」と述べ

た。本日、演武される皆様は日頃の稽古の成果を発揮すると同時に、先達に感謝の気持ち、また一期一会の心で臨んでいただきたいと思えます」と述べ

国歌斉唱の後、大会副会長の可児晋（公財）合気会理事から「合気道の精神がいまや世界中で求められています。演武に参加される皆様には合気道の素晴らしさを存分にご披露いただきますようお願いいたします」と開会の辞が述べられた。

守央道主・（公財）合気会理事長より「現在、合気道は世界一四〇の国と地域に大



植芝道主による挨拶

第六十二回 全日本合気道演武大会（主催（公財）合気会、後援スポーツ庁、東京都、（公財）日本武

道館、NHK、日刊スポーツホールディングス、協力 全日本合気道連盟、全国学生合気道連盟）が五月二十四日正午より、日本武道館で開催された。



られた。その後、司会からこの度の植芝道主の旭日小綬章受章が報告され、会場は盛大な拍手に包まれた。

続いて山谷えり子参議院議員（元国務大臣、（公財）日本武道館常任理事、（公財）合気会理事、埼玉県合気道連盟会長）武正公一衆議院議員、福島伸享衆議院議員からの来賓挨拶、来賓紹介、祝電披露の後、演武に移った。

演武は師範・指導員、登録道場・団体、地域連盟、学生演武、中・高等学校、文化センター、社会人団体、IAF（国際合気道連盟）、海外道場、合気道本部道場一般、防衛省合気道連合会、合気道学校が出演。第一部の最後は植芝充央合気道本部道場長の演武で締めくくられた。

続いて第二部が行われ、冒頭に来賓の長友よしひろ衆議院議員が紹介された。第二部も引き続き白熱の演武が繰り広げられ、大会の最後は植芝道主の総合演武で締めくくられた。

閉会式では林典夫（公財）合気会常務理事より「ここにお集りいただいた皆様のご協力により、大変盛大に行われましたことを心より御礼申し上げます。今日の活動を大切に、明日から研鑽に励んでいただき、また来年、日本武道館でお会いしましょう。本日はありがとうございました」と閉会の辞が述べられ大会は締めくくられた。

大会出場者の増加に伴い、今大会入退場の方法も改められ、演武はスムーズに進行した。大会前日まで夏日が続いたが、この日は比較的涼しく、演武者たちも心地よく汗をかいた様子がうかがえた。

令和七年 鏡開き式・武道始め

(公財)日本武道館主催の令和七年鏡開き式・武道始めは一月十三日(成人の日)に日本武道館で行われた。

開会式の後、日本武道協議会により令和六年度の武道功労者並びに武道優良団体の表彰式が行われた。これは長年にわたり武道の普及・振興に寄与した個人と団体を対象とするもので、合気道では武道功労者として阿部豊雲師範(大阪府合気道連盟副会長・天之武産合気道塾道場道場長)、武道優良団体として岐阜県合気道連



左から阿部師範、植芝道主、林恵司岐阜県連理事長

盟が表彰された。

続いて古式に則った鎧着初め式と鏡開きが行われた。

次いで各道による模範演武が行われ、合気道からは本部道場指導部の藤巻宏師範、伊藤眞師範、鈴木俊雄師範、藤田すみれ指導員、有馬隼人指導員、深浦徹也指導員、セシナス・アレクシ指導員が演武を行った。

模範演武の後、各道の稽古始めが行われて、合気道は入江嘉信本部道場指導部師範の指導の下、稽古が行われた。

大阪府合気道連盟副会長

阿部 豊雲

このたび合気道道主・植芝守央先生の御推挙を頂き、日本武道協議会より武道功労者表彰の栄を賜りました。心から厚く御礼申し上げます。特に父である阿部醒石と親子二代にわたつての表彰に感慨無量の思いがいたします。

父醒石と共に開祖植芝盛平翁先生から大阪で入門を許された時は十三歳。当時中学生は私一人だけでしたが、稽古中に開祖から座法呼吸法を直接ご指導頂き、時には開祖が受けを取って下さるという大変貴重な経験もさせて頂きました。また、書道で有名な大東文化大学に進学し上京した際にも、書道に励みながら本部道場にも通い、開祖に非常に大事にして頂きまし

た。

卒業後は大阪に戻り高校の教師になり、赴任先の高校で合気道部を創部し指導を続けました。卒業生が各大学に進学して大学の合気道部で活躍したおかげで、現在も門下大学と門下高校の指導を続けております。

また、地元大阪府吹田市を始め、大阪府と奈良県で合気道連盟が創設される際には、理事・副理事長、副会長等を務めさせて頂き、地域における合気道の普及振興に微力ながらもお力添えさせて頂いております。

開祖と父から習った、いかに気を出すか、相手の気持ちと合わせるか、螺旋の動きについて、今後も滅私の精神で合気道の指導と普及に勇往邁進することをお誓い申し上げます。

最後に改めまして、このたび武道功労者へ御推挙下さいました合気道道主植芝守央先生、誠にありがとうございました。

岐阜県合気道連盟理事長

林 恵司

岐阜県合気道連盟は、合気道道主・植芝守央先生のご推挙により、令和七年一月十三日開催の日本武道館での「鏡開き式・武道始め」の席上で、日本武道協議会より武道優良団体として「武道功労者表彰」を受けました。

大いに感激し、夢かと思うほどの喜びがありました。ご推挙頂いた道主を始め関係者の方々に心より御礼申し上げますと

ともに、これからの連盟運営を頑張らねばならないと思っており、身の引き締まる思いであります。

この表彰式の後、日本武道協議会の加盟九団体の模範演武が行われました。衆目監視の中で行われた演武でしたが、実に見ごたえのあるものでした。

当連盟は、平成二十一年、全日本合気道連盟理事長・尾崎先生、合気道本部道場の大澤勇人師範のご指導を賜り、平成二十一年十月二十六日に設立を宣言いたしました。

連盟の設立までは、道場間のつながりが、全く希薄でしたので、加盟団体は九団体と少数ながら道友ができた喜びが大きかったような記憶がありました。

設立の目的は、合気道の発展・普及、加盟団体間の交流等ですが、当面の重要課題は、岐阜県体育協会(現・岐阜県スポーツ協会)への加盟を目的としました。

その結果として、平成二十九年年度岐阜県体育協会に加盟することができました。

連盟の活動としては、毎年、講習会と県スポーツ協会主催の交流事業を実施しております。連盟設立十周年の記念行事を令和元年実施しましたので、二十周年に向けて努力しているところであります。令和七年一月現在、加盟団体は十五団体となりました。

連盟運営は、マンネリ化しないように、この受賞を機に原点に立ち返って頑張る所存ですので、皆様方のご指導・鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

神奈川県
連盟

第十二回講習会



神奈川県合気道連盟第十二回講習会は、三月八日、神奈川県立武道館にて開催した。

新型コロナウイルス対策で、二〇二〇年より三年間講習会を開催出来ず、その後県立武道館の改修が始まったことで、二〇二三年、二〇二四年は別会場での実施であったため、神奈川県立武道館での講習会は実に六年ぶりのこととなった。今回は藤巻宏本部道場指導部師範をお招きして講習会の御指導をお願いし、四団体から約一七〇名の参加があった。

開会式にて今崎正敏連盟理事長、武田義信連盟名誉会長からの挨拶の後、藤巻師範による講習となった。講習においては、藤巻師範から参加者の状況に合わせ、この級までの方はこの形で、黒帯はこの形も、というように丁寧な御指導を頂き、多くの参加者からも改めて多くの点など気づくことが出来たとの感想が寄せられた。また藤巻師範は道場内を広く回られて精力的に御指導頂き、大変有意義な講習会とすることが出来た。

閉会式にて松田良昭連盟会長からの挨拶の後、会場を近くのソシア21に移して懇親会が行われ、藤巻師範を囲みつつ参加者同士が道場の枠を超えて親睦を深めることが出来、盛会のうちに終了した。

(神奈川県合気道連盟事務局 山本 洋)

広島県
連盟

春季特別講習会



令和六年度広島県合気道連盟春季特別講習会を三月八日・九日の二日間、金澤威本部道場指導部師範をお招きし、広島県立総合体育館武道場(広島県中区)にて開催しました。

参加団体は県内二十六団体、県外二団体、四大学の計三十二団体。二日間で延べ一八八名が集い稽古に励みました。

二日間を通して、単独動作、体捌き、逆半身片手取りや正面打、横面打などご指導いただきました。

自分の身体をまとめる、半身では腹・腰を意識し使う軸作りが大切である、色々な人と組み自身の感覚を磨き、相手の状態に応じて稽古できるよう研究を続けることは、実生活でも活かるといふことを学びました。基本的な動作が大切であり、腰の働き、半身の構えなど日々の稽古で精度を高めて行きたいと思えます。

金澤威師範、二日間にわたり、ご指導いただきありがとうございました。

(広島県合気道連盟評議員 椎木 紀行)

大阪府
連盟

指導者講習会

第三回大阪府合気道連盟指導者講習会は三月三十日、植芝充央本部道場長をお招きし大阪府豊中市にある合気道豊中正泉寺道場にて行われた。



植芝本部道場長による指導

今講習会は、大阪府連として次世代の若手指導者の育成を目的とし行われた講習会で、講習会には府連加盟団体から十三団体、また京都、兵庫からの参加もあり計八十名が稽古に参加した。

講習会に先立ち、行われた開会式では植芝道場長、嶋本勝行合気道豊中正泉寺道場長が挨拶をされた。

十三時より始まった講習会は、二時間を超える講習会となったが、参加者は最後まで集中を切らすことなく稽古に励んだ。

植芝道場長は、合気道の基本の体捌きを基に、技の中で体捌きが活かされていることを強調し、さらに初心者に教える際の注意点なども踏まえて指導された。植芝道場長は「新しい方に指導されるときは、ご自身が初心者だったころを思い出して丁寧に稽古を行ってください」と述べられた。

閉会式では、木村二郎大阪府合気道連盟理事長より、植芝道場長へ感謝の言葉が述べられ、参加者の拍手に包まれながら、講習会は成功裏に幕を閉じた。

愛知県
連盟

合気道研鑽会

愛知県合気道連盟は四月十三日、愛知県武道館において令和七年度愛知県合気道連盟合気道研鑽会を開催しました。

愛知県では、令和七年にアジア・アジアパラ競技大会が開催されるため、県内各スポーツ施設の改修工事が行われています。例年秋に開催している連盟講習会も開催できず一年以上連盟行事がないことから、連盟の目的の一つの合気道の普及と進歩を推進するため会場確保に奔走したところ、四月に会場確保ができたため合気道研鑽会を開催しました。

研鑽会は、澤田俊晴連盟相談役をはじめ、女性指導者を含めた指導者三名による一コマ一時間の稽古を三コマ行いました。澤田相談役は、技は力ではなく剣や杖の理合を意識した体の使い

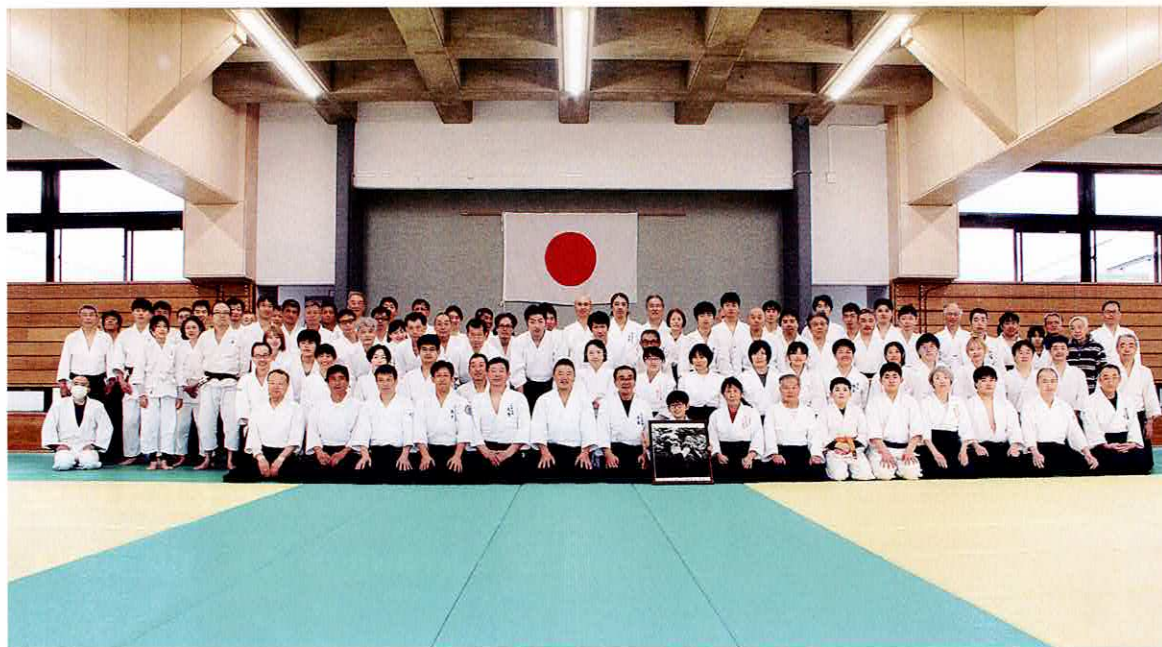


方の稽古、女性指導者の田畑綾子連盟運営委員は、姿勢よく力に頼らない技を示した稽古、神谷英志連盟理事は、若手指導者らしく躍動感に満ち溢れるとともに各技がながっていることを意識しての稽古でした。

また、合気道の稽古のほかに、合気道同様有酸素運動で前後左右の移動による心肺機能の向上が得られるエアロビク体験会を、愛知県エアロビク連盟から講師を招き一時間行いました。普段合気道では使わない筋肉を使ったりしましたが、体重移動や体軸を保つこと、呼吸をしながら動くことなど、今後の合気道の稽古に活かすことができる内容が含まれていました。研鑽会は、各コマ約八十名弱が参加し、普段とは違った形での稽古で充実したもので新たな気づきを得た研鑽会となりました。

長野県
連盟

合気技術講習会



長野県合気道連盟(萩原清会長)は四月十三日に松本市柔剣道場にて菅原繁本部道場指導部師範をお迎えして合気技術講習会を開催しました。連盟傘下の二十道場及び信州大学から合わせて一〇五名が参加しました。

当連盟は例年四月に本部道場師範の講習会を開催しており、今年で二十七回目となります。講習会は午後一時から二時間行われました。

菅原師範は転回足、転換足の足捌きの単独動作から基本の技の稽古を行いました。後半からは受身の指導を行い、稽古で体を作ることを強調しました。

初心者も有段者の方もそれぞれのレベルで今後の自己の稽古や道場での稽古の中に反映する講習会になったと思います。

(長野県合気道連盟副会長
中島久典)

今後の予定

◎十月三十一日(金)～十一月二日(日)

第13回全国合気道指導者研修会
千葉県勝浦市 日本武道館研修センター

◎十一月九日(日)

道主旭日小綬章祝賀会
京王プラザホテル

令和八年

◎一月十日(土)

全国道場団体連絡会議 合気道本部道場

◎一月十一日(日)

合気会鏡開き式 合気道本部道場

◎一月十二日(月)祝日

日本武道館鏡開き式 日本武道館

訃報



嶋本 勝行氏

全日本合気道連盟理事
大阪府合気道連盟会長
合気道豊中正泉寺道場長
令和七年五月十一日 逝去
享年八十九歳



公益財団法人合気会認定道衣
百年の伝統
株式会社岩田商会
<https://iwataco.com/>

大好評販売中!

軽量・コンパクト、瞬時速乾道衣

初心者・学生に大人気

よもぎ

すみれ

わかば

〒290-0037 千葉県市原市飯沼172

TEL/FAX: 0436-77-1606

URL: www.xebec9.jp/E-mail: morishige@xebec9.com

合気道用品専門店

Xebec

初級者・入門者用合気道衣セットから上級者にお薦めの合気道袴・合気道木刀まで幅広く取り揃えております。



株式会社
東山堂

京都ショールーム

〒602-8205

京都市上京区中立売智恵光院東入451-1

営業時間: 9:00~18:00

TEL: 075-432-1600

聖護院店

〒606-8323

京都市左京区聖護院内藤美町24

営業時間: 10:00~19:00

TEL: 075-762-1341

オンラインショップ <https://tozando.net/>

GEN ONLINE DOJO® 合気道

動画 配信中



合気道コンテンツを随時公開!



公益財団法人 合気会 公認道衣
純日本製 合気道・古武道用品専門店

星道

道衣・袴・帯・木製武器
高品質の名入れ刺繍・文字彫りも承っています

【ご注文・お問い合わせ】

www.SeidoShop.jp

TEL: 048-437-1740 FAX: 048-437-1856



東京・本郷 合気道用品専門店
仁武堂



〒113-0033 東京都文京区本郷3-4-5

ハイムビル3・4・5ビル 2F-1

TEL: 03-6801-6414

FAX: 03-6801-6415

◆ info@jinbudo.co.jp◆ <http://www.jinbudo.co.jp/>

合気道衣「綿」

好評発売中!

Jinbudo

※本誌通り(国産17号)
「セッター」ニューアム入口 文庫会そば
【特徴】
●東京・本郷の内外、東京・本郷より 徒歩5分
●JR中央線有明駅・有明駅より 徒歩5分
●東京・本郷の内外、東京・本郷より 徒歩5分

合宿に最適! 源泉かけ流し+スポーツ施設

多目的ホール完備!

伊豆奥下田、
飲泉・自家源泉かけ流し、
豊かな大自然の恵みと
スポーツ施設で
いい汗ながししましょう!

伊豆奥下田
飲泉・自家源泉かけ流しの宿

お問い合せは 伊豆奥下田
0120-01-9994

〒413-0712 静岡県下田市横川 1092-1 ☎0558-28-1234 (代) ☎0558-28-1235 | 観音温泉 | 検索 | <http://www.kannon-onsen.com>

観音温泉 合宿プラン

伊豆奥下田、
飲泉・自家源泉かけ流し、
豊かな大自然の恵みと
スポーツ施設で
いい汗ながししましょう!

伊豆奥下田
飲泉・自家源泉かけ流しの宿

お問い合せは 伊豆奥下田
0120-01-9994

〒413-0712 静岡県下田市横川 1092-1 ☎0558-28-1234 (代) ☎0558-28-1235 | 観音温泉 | 検索 | <http://www.kannon-onsen.com>

ダービー印製品販売元・タオル・本染手拭・名入卸



株式会社 堀内

本社 豊島区高松1-10-5

電話: 03-3973-0710

FAX: 03-3973-0991

電話: 03-3959-2071 (夜間)

E-mail: horiuchi-towel@honey.ocn.ne.jp

公益財団法人合気会
公認道衣 販売開始決定!



シメツの案内

東海堂 SHOP 水道橋店

〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-11 岡野ビル

TEL: 03-5840-8030 FAX: 03-5840-8033

営業時間: 10:00~19:00 定休日: 年末年始・夏季

東海堂 SHOP 博多店

〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 6-18

神屋ビル101号

TEL: 092-263-6891 FAX: 092-263-6892

東海堂 SHOP 名古屋店

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-16-26

真久ビル603号室

TEL: 052-937-2560 FAX: 052-937-2561

東海堂 SHOP 難波店

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-22

新川清水ビル2F

TEL: 06-6633-3277 FAX: 06-6633-3278

横浜営業所

〒231-0028 神奈川県横浜市中区鶴町 2-8-6

第二東里ビル214号室

TEL: 045-305-6923 FAX: 045-345-5589

※大会等の催事出店の為、臨時休業となる場合があります。

東海堂

<https://www.tokaido.tokyo>

絶賛更新中!